

第10回 事業推進委員会・議事録

開催日 : 平19年1月17日 (水) 午後5時から午後7時  
場所 : 京都コンピュータ学院 京都駅前校 新館4階 会議室  
メンバ : 委員長 京都電子計算(株) 駒井 一正  
委員 アド・プロヴィジョン(株) 河合 博康  
委員 (株)京信システムサービス 竹内 清量  
委員 (株)近畿リサーチセンター 小島 耕一郎  
委員 けいしんシステムリサーチ(株) 小野 隆夫  
委員 (株)ケーケーシー情報システム 宇野 悟史  
委員 島津エス・ディー(株) 山本 孝  
委員 総合システムサービス(株) 古川 峰生  
委員 (株)たけびし 中村 徹(欠席)  
委員 ワールドビジネスセンター(株) 中島 正司(欠席)  
事務局長 京都コンピュータ学院 和田 壽郎

主たる議題 (議事進行は駒井委員長が行う)

1. 会員増強活動の状況(継続案件)
2. 各委員会活動報告および新年度事業計画案・予算案について
3. 事務局報告
4. 理事会準備関係

1. 会員増強運動の状況(継続案件)

・(株)ウェルアソシエイツ新入会員申込書受理(紹介会員:(株)島津エス・ディー)

2. 各委員会活動報告および新年度事業計画案・予算案について

(1) 地域情報化委員会報告(古川委員長より)~下記のとおり説明。

1) 新春セミナーの準備・役割に関して

- ・ 司会: 土井氏を選任する。講師の機材利用に関して確認する。(土井氏が担当)
- ・ 樽酒のセレモニーの問題有無及び持ち込み費用に関しては事務局に任す。
- ・ 平安会館で用意できる枈は「月桂冠」、招徳酒造側で用意可能かを確認する。
- ・ セミナーの参加者は少ない可能性があるため2名/社への呼びかけを事務局に依頼する。
- ・ 挨拶は長谷川会長、締め挨拶は家次副センター長にお願いすることに決める。

2) 次年度の地域情報化委員会の活動に関する議論

次年度計画を事業推進委員会(12月13日)に提示する必要があったので次年度委員長: 中川氏、前年度委員長: 馬場氏、古川の3者で協議している。

試作産業創出関連

- ・ 地域情報化委員会で情報を取得し、広報する段階は完了した。
- ・ 連絡会に出席しても義務(展示会出展、プレゼンしグループをPR等)が求められる。
- ・ 18年度でこの取組は完了し、個別企業の取組とする。
- ・ 試作センターと京情協のお付き合いを考慮し、何処までやるのかの議論であり、地域情報化委員会としての役目は完了しているが多数意見である。
- ・ 両委員長が試作センターにグループとしての活動を終了する事を申し合わせる。

## 地上デジタル放送公共アプリケーション

地上デジタル放送の利活用はITコンソーシアム京都の一部会として引継がれた。  
3者の協議ではITコンソーシアムの部会に出席し、広報する役目を行うよう提案する。

- ・協議の結果、部会に出席する。責任を明確化するために部会とリーダーを割当てる。

ネットワーク部会 徳増氏

医療情報化部会 馬場氏

地上デジタル放送活用部会 中川氏

情報セキュリティ部会 猪飼氏

- ・部会に登録しておくので会議案内等は各自に届く事になる。

京情協の有様(他府県情報産業団体を参考に)

検討の結果、引続き地域情報化委員会の活動として了承される。

賀詞交歓の併設行事(セミナー担当)

検討の結果、引続き地域情報化委員会の活動として了承される。

その他(大学との連携)

3者の協議では19年度目玉として、リクルート活動の一環として大学との連携を提案する。

以下は議論内容

- ・売手市場となると人材確保には各企業とも苦労されている。京都で勉強している有用な人材を京都の活性化に利用する事は意味ある活動である。
- ・各大学へのPR活動(取組んでいる事業、人材育成をどのように考えているか、インターンシップ等)を地道に実施し地元企業への定着化を図る。

### 3) おおまかな予算(以下の予算を了承する)

- ・産学交流会(リクルート活動) 10万円
- ・新春セミナー開催 30万円
- ・委員会開催費 3万円

結果的には前年予算と同一の43万円となる。

## (2) 経営委員会報告(小島委員長より)~下記〔事業推進委員会資料〕により説明。

### 〔事業推進委員会資料〕

平成19年1月17日

平成18年度経営委員会第三四半期活動報告(理事会報告用)

経営委員長 小島耕一郎

#### 1、第三回定例経営委員会及び景気短観調査

実施日時 平成18年11月16日 15:00~16:30

場所 京都コンピュータ学院京都駅前校新館4F会議室

出席者 8名

議題(1)景気短観調査

(2)18年度経営委員会行事状況報告

第3回経営研究会開催(9・21)実績と次回計画報告

特別調査、高齢者雇用実態アンケート内容意見聴取

19年度経営委員会事業計画検討について

事務局報告その他

#### 2、第四回定例経営委員会

実施日時 平成18年12月21日 16:30~18:00

場所 うをすえ(下京区綾小路東入る)

出席者 10名

議題

19年度経営委員会役員選出

18年度役員、体制を19年度継続する。

委員長 小島耕一郎（近畿リサーチセンター）  
副委員長（情報交換広場担当） 牧 義藏（ワールドビジネスセンター）  
副委員長（経営研究会担当） 中川 敦（京信システムサービス）  
副委員長（府民セミナー担当） 上田治文（京都情報大学院大学）  
書記長（定例委員会、景気短観担当） 相原義一（バンテック）

19年度経営委員会事業計画立案

- ・定例委員会（5回）並びに景気短観調査（年4回）  
開催月 5, 8, 11, 12, 2月第三木曜日 17時～19時
- ・情報交換広場（2回）  
開催月 8, 2月
- ・経営研究会（3回）  
開催月 6又は7, 9, 11月
- ・府民セミナー（1回）  
開催月 5月（総会と同日）
- ・特別調査

各行事のテーマは、第5回経営委員会（2・15）で決定

「各計画予算案」（単位千円）

	19年度案	18年度計画	18年実績見込み
委員会費	100	100	67
情報交換広場	150	150	93
経営委員会	250	300	96
府民セミナー	250	300	81
特別調査	150	50	0
合計	900	900	337

3、第4回経営研究会開催

開催日時 平成18年11月16日 16:30～18:30  
場所 京都コンピュータ学院京都駅前校新館4F会議室  
テーマ 外国人技術者の活用  
講師 野瀬義幸氏（（株）呉電子計算センター常務取締役）  
参加者数 22名

4、今後の行事

第2回情報交換広場を2月15日開催  
テーマ 「人事評価制度について」  
出席会員各社による情報交換を行う。

以上

（3）技術委員会報告（山本委員長より）～下記「1月度 事業推進委員資料」により説明。

平成19年1月17日

< 1月度 事業推進委員会資料 >

技術委員長 山本

技術委員会報告

1. 技術委員会開催状況

1月までに技術委員会を10回開催し、技術委員会の今年度事業について審議してきました。

## 2. 情報技術マップの作成

京情協全体の IT 技術指向を把握することにより、今後の会員企業の市場戦略や技術戦略策定、人材育成策に役立てていただくことを目的に「情報技術マップの作成に関する」アンケート調査を実施し、69件(49会員)からの回答を得ることができました。

この調査書をもとに、「情報技術マップの作成」のまとめを行ってきて、ほぼ報告書としてまとめ上げることができました。

現在、会員各位へ配布する準備を行っており、2月末を目処に冊子として配布する予定でいます。

## 3. SE / システム高度化・研究会の開催

「SE / システム高度化・研究会」では3つの研究会(品質、情報セキュリティ、新技術&開発効率)を9~12月の間でそれぞれ4回開催しました。

現在、2月14日の「成果発表会」に向けたまとめを各研究会とも行っています。

## 4. 2月開催の「オープン技術セミナー」

マイクロソフトの協力を得て、新世代OS「Windows Vista」と「the 2007 Microsoft Office system」の関するイベントを『京都 IT 実践フェア』として開催することとなりました。

開催日時 2月1日(木) 10:30~17:00

開催場所 国立京都国際会館・イベントホール横

内 容 新世代OS「Windows Vista」と「the 2007 Microsoft Office system」

講 師 マイクロソフト

後 援 京都府中小企業技術センター、(財)京都産業21

協 力 京都商工会議所、マイクロソフト株式会社

## 5. 平成19年度 技術委員会事業計画・予算(案)

平成19年度の技術委員会事業計画・予算(案)の見直しを行った。

以 上

### 平成19年度 技術委員会 事業計画・予算(案)

技術委員会

#### (1) 府民生活の向上に資する情報化促進事業

##### 情報化ホットライン事業

情報技術に関するあらゆる問題解決のため、個人・企業・団体を問わず電話・FAX・インターネットによる情報化相談事業を推進します。 < 予算: 20,000 円 >

##### コンピュータ・ウィルス情報広報

コンピュータ・ウィルスの発生情報を収集し、感染現象、駆除・対処方法をホームページにて広報します。

#### (2) 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業

「オープン・技術セミナー」の開催(2月)

< 予算: 200,000 円 >

#### (4) 社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業

情報化推進月間協賛「情報化フォーラム」の開催(10月) < 予算: 200,000 円 >

#### (6) 府内情報産業の強化振興事業

「SE交流会」の開催

< 予算: 450,000 円 >

若いSE管理者の交流会を開催し、交流会の発展型として「品質」、「新技術&開発効率」、「情報セキュリティ」などをテーマとする研究会に発展できればとするものです。このことにより技術委員会の活性化ならびに、同業他社との情報技術交換による

課題解決やマネージメントの向上に役立てようという狙いです。  
(キックオフセミナー 9月、各研究会4回 9月～12月、成果発表会 2月)

(8) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

「京都府情報産業協会における情報技術マップの作成」に関する調査  
< 予算 : 50,000 円 >

平成18年度に会員各位の情報技術利用動向の把握と今後の技術展開の方向性を明らかにするため、ITディレクトリを反映した「情報技術マップ」を作成しました。今後も調査を継続し情報技術に関する利用実績・着手意向の動向を明らかにすることで、会員各位の技術展開の方向性を見出す検討資料として役立て、本協会の基盤強化と活性化促進に繋げることを目的とします。

・技術委員会開催(5月、6月、7月、9月、10月、12月、1月、2月、3月:計10回)

技術委員会費 < 予算 : 50,000 円 >

< 予算合計 970,000 円 >

以上

(4) 広報委員会報告(河合委員長より)～下記「1月度事業推進委員会広報委員会資料」にて説明。

2006年度広報委員会活動報告

1 > 5月12日 第1回委員会

京情協 Web リニューアルについて  
会員企業からの改善点に関する回答を検討  
京情協ウェブ改善案の提示  
上記意見聴取に基づいた改善案について提示・説明

インターキョウト 30号の企画

2 > 6月9日 第2回委員会

インターキョウト 30号の内容確認  
京情協 Web 改善の具体的検討  
Web 改善の基本的な考え方について提案  
6月末までEメールにて意見交換を行なう。  
9月末のオープンに向けてリニューアルの具体化作業

各委員の役割分担を決定

7月インターキョウト 30号発行

3 > 8月10日 第3回委員会

インターキョウト 31号の企画  
京情協 Web  
現状の Web の更新と今後の管理体制の確認  
リニューアルのTOPページ案とディレクトリ案  
会議所ホームページコンテストの広報委員会としての関わり

8月 SEO 対策セミナー開催

4 > 9月8日 第4回委員会

インターキョウト 31号の内容確認  
\* 極力、タイムリーな情報を掲載するための検討  
\* 広報委員としての各委員会担当の確認  
京情協リニューアル Web の具体的案を提示・協議

10月インターキョウト 31号発行

- 5 > 1 1月10日 第5回  
 インターキョウト 32号の企画  
 京情協 Web サイトの運営体制の確認  
 管理画面更新担当及びサーバ管理担当等  
 会員名簿発行についての協議
- 6 > 1 2月5日 第6回  
 インターキョウト 32号の進捗状況確認と企画調整  
 京情協 Web サイト関連  
 求人情報の掲載を6社が希望。掲載方法と取り決めの確認  
 来期の事業計画案と委員体内部の体制（役割分担）の協議  
 1月末、インターキョウト 32号発行（予定）

## 平成 19 年度事業計画（案）

### 府内情報産業の強化振興事業

京情協ニュース配信

【事務局】

情報関連のニュース、協会の動向を協会員に限定せず、希望者に配信します。特に、IT関連の行政情報（研究助成・補助事業・その他）について、当協会が受け皿となって情報産業界への浸透を図ります。

会員名簿発行

【広報委員会・事務局】

平成 18 年度の実績に基づく「平成 19 年度版会員名簿」を発行します。

### その他本協会の目的を達成するために必要な事業

【趣 旨】

本協会の主たる事業を補完する事業、また主たる事業に関連する事業、にも取り組み、協会事業範囲の硬直性を排除して柔軟に対応していくことも重要なことと考えます。

【目 的】

当協会事業の実効性の向上を目的とします。

【事 業】

【広報委員会・事務局】

インターネットWebサイトのタイムリーな更新による、広報活動の促進

協会報『インターキョウト』の発行

年間4回協会報を発行します。6月発行予定の総会号、新春号は6ページ立て、他は4ページとします。極力、会員企業の情報を掲載します。

配布先の定期的見直しを行い、効率のいい配布を行います。

事務局との連携強化による情報収集の迅速化と広報活動

京都府や他の関連団体と連携し、タイムリーなニュースリリースの提供などの広報活動を行ないます。

### 広報委員会 平成 1 9 年度事業計画 予算案

会員名簿作成	70,000円
協会報インターキョウト34～37号	800,000円
Webサイト保守・サーバ管理費	360,000円
委員会開催費	30,000円
	合計1,260,000円

### 3. 【事務局報告事項】

(1) 「第6回ケータイ国際フォーラム」について

1) 中国訪問団参加募集の件

- ・日程 : 3月25日(日)~29日(木)(4泊5日)
- ・訪問先 : 北京市
- ・団 長 : 山田啓二 京都府知事  
(ケータイ国際フォーラム推進会議代表)
- ・副団長 : 立石義雄 京都商工会議所副会頭  
(日本・ケータイ国際フォーラム推進委員会委員長)
- ・団 員 : 企業、大学・研究機関、行政、経済団体関係者等 30名程度
- ・参加費 : 別途案内(1名20万円程度)
- \* 別添「中国訪問団参加募集のご案内」参照

## 2) 協賛金について

平成18年12月22日「日本・ケータイ国際フォーラム推進委員会」より協賛金の請求あり、支払処理を行った。

支払額 250,000円  
支払日 平成18年12月25日

## (2) 「京都ビジネス交流フェア2007」概要と広告協賛金について

### 1) 概要

- ・日時 : 平成19年2月22日(木)~23日(金)
- ・会場 : 国立京都国際会館
- ・主催 : 京都府、(財)京都産業21
- ・後援 : 近畿経済産業局、京都市、京都商工会議所、  
(社)京都工業会、(社)京都経済同友会

### 2) 広告協賛金支払

平成18年12月7日「財団法人京都産業21」より請求があり、支払処理を行った。

支払額 200,000円  
支払日 平成18年12月19日

## (3) 京都商工会議所主催「ホームページコンテスト」審査について

平成19年1月30日(火)最終審査委員会開催し、入賞作品を決定。

## 4. 理事会準備関係

1月18日の第4回理事会の議案について事務局より資料を配布し確認を行った。

懸案事項の第1号議案「正会員会費一部改定の件」については、事業推進委員会でも議論を行った経緯もあり、再度本委員会で議論を行った結果、修正案を本委員会として準備することとなった。理事会に委員会活動報告のため出席する駒井委員長に下記の2案を修正案として準備すべく一任した。

修正案1. 正会員の年会費を一律60,000円に改定する。

修正案2. 年会費は改定せず現状のままとする。

## 5. その他

第6回ケータイ国際フォーラム訪問団の参加要請があり、開催日程が本協会の平成18年度通常総会の日程と一部重複している。会員への協力を推進するため、総会の日程を3月30日(金)に変更することで意見が一致し、理事会の了承を得ることとなった。

以上をもって委員会議事は終了し午後6時55分閉会した。

次回委員会は、

日時 平成19年2月14日（水） 午後4時より

場所 平安会館 羽衣の間

以上